

大 正ロマンの画家として知られる竹久夢二 (1884~1934)。実は詩人や文筆家としての顔も持ち、300冊以上の本の装幀も手掛けたデザイナーでもあったことはご存じですか？

夢二ははじめ詩人になりたいと思いつき、「繪の形式で詩を書いてみた」ことから画家として歩みはじめます。

夢二の絵に漂う詩情は、彼の作品の大きな魅力の一つです。また、「宵待草」に代表される詩や物語も創作し、57冊の著作本も刊行しています。さらに、他の作家の著作のブックデザインも数多く手掛けた。

本展では抒情溢れる夢二の絵や、詩や文章、装幀本などを展示し、夢二作品の文学性や、文学との関わりをご紹介します。

大 正ロマンの画家として知られる竹久夢二 (1884~1934)。実は詩人や文筆家としての顔も持ち、300冊以上の本の装幀も手掛けたデザイナーでもあったことはご存じですか？

夢

「絵で詩をかいてみた」

× 文 学

竹久夢二美術館

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2
Tel. 03(5689)0462

開館時間

午前10時半~午後4時半(最終入館午後4時まで)

※新型コロナウイルスの影響により、開館時間を変更になる場合があります。

休館日 月曜日・火曜日

※ただし7月19日(月)・祝・9月20日(月)・祝開館

※新型コロナウイルスの影響により、休館日が変更になる場合があります。

入館料 一般1000円/大・高生900円/中・小生500円

※弥生美術館も併せてご覧頂けます。

※入館にはオンラインによる事前予約(日時指定)が必要です。



「鴨川情話」大正6年(1917)



セノオ楽譜「宵待草」大正7年(1918)



「山へよする」大正8年(1919)

竹久夢二の抒情画・著作・装幀

2021
7.3 SAT
9.26 SUN

<https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

竹久夢二「夢よ浅かれ」大正15年(1926)